

## 伊豆大島の地殻変動\*

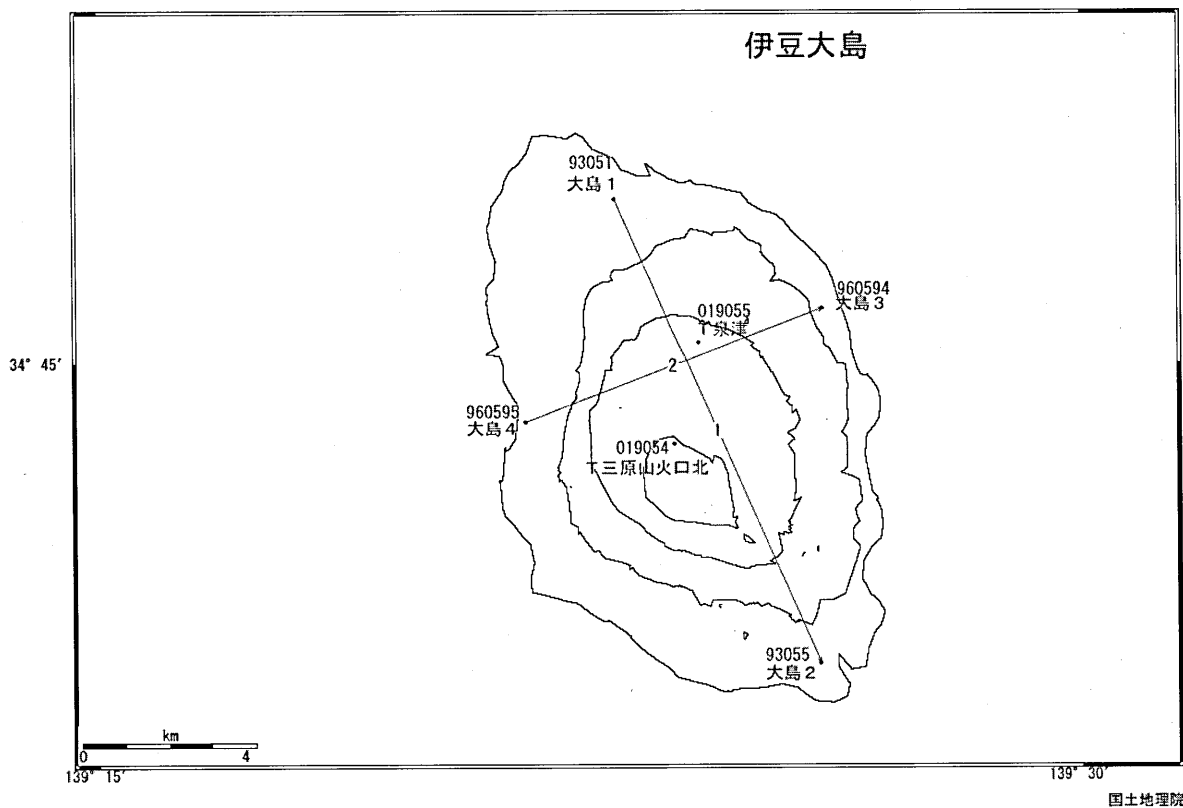
### Crustal Deformations of Izu Oshima Volcano

国土地理院

Geographical Survey Institute

第1図は、伊豆大島をほぼ南北・東西に横断する基線におけるGPS連続観測結果である。伊豆大島では、跛行を繰り返しながら、長期的な基線の伸びが続いており、島のほぼ中央部、5 km程度の深さのマグマ溜りへのマグマの蓄積が継続して進行していると考えられている。2000年7月頃の基線(1)の短縮は、三宅島噴火の際に神津島付近にかけて形成された大規模なダイクの活動によるものである。それ以外の基線長の速度変化のリズムは全基線に共通しており、マグマ溜りへの供給率の変化や一時的なドレインバックに対応している可能性が高い。2005年のはじめ頃からは、伸張傾向であったが、2006年半ばから収縮傾向に転じたように見える。

伊豆大島地区 GPS連続観測基線図



第1図 (a) GPS連続観測点配置図

Fig.1(a) Site location map of the GPS permanent continuous measurements network in Izu Oshima Volcano.

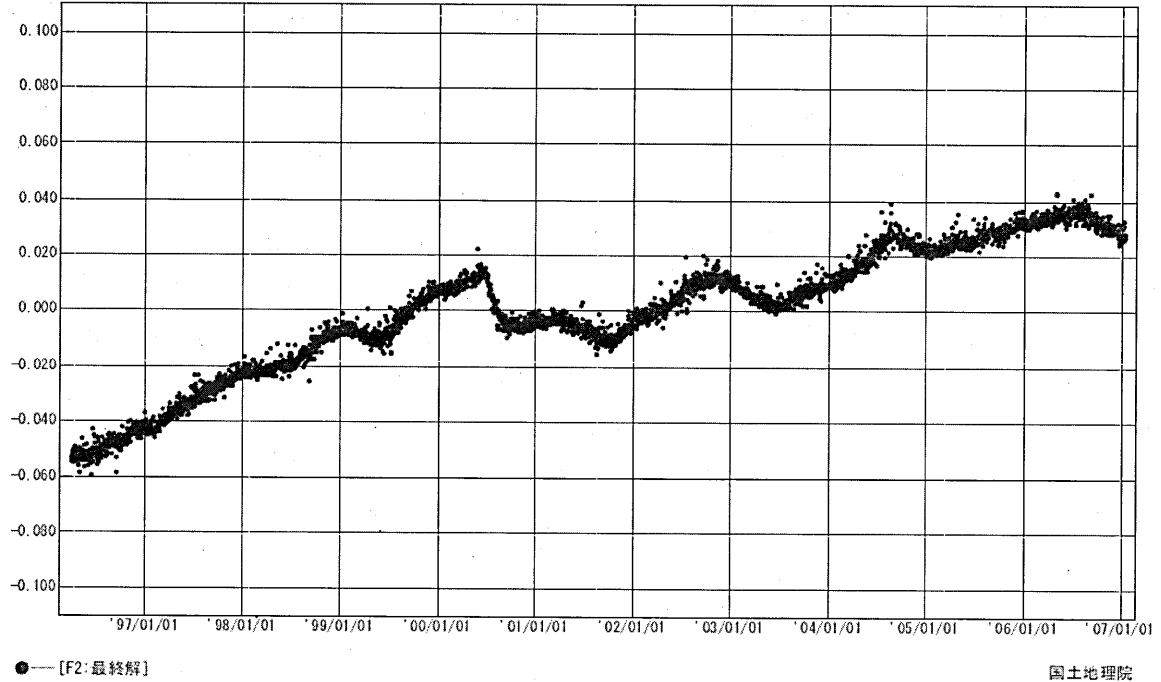
\* 2007年8月10日受付

基線変化グラフ (全期間の変動)

期間：1996/04/01~2007/01/13 JST

(m) (1) 大島1 (93051)→大島2 (93055) 斜距離

基準値：11825.375m

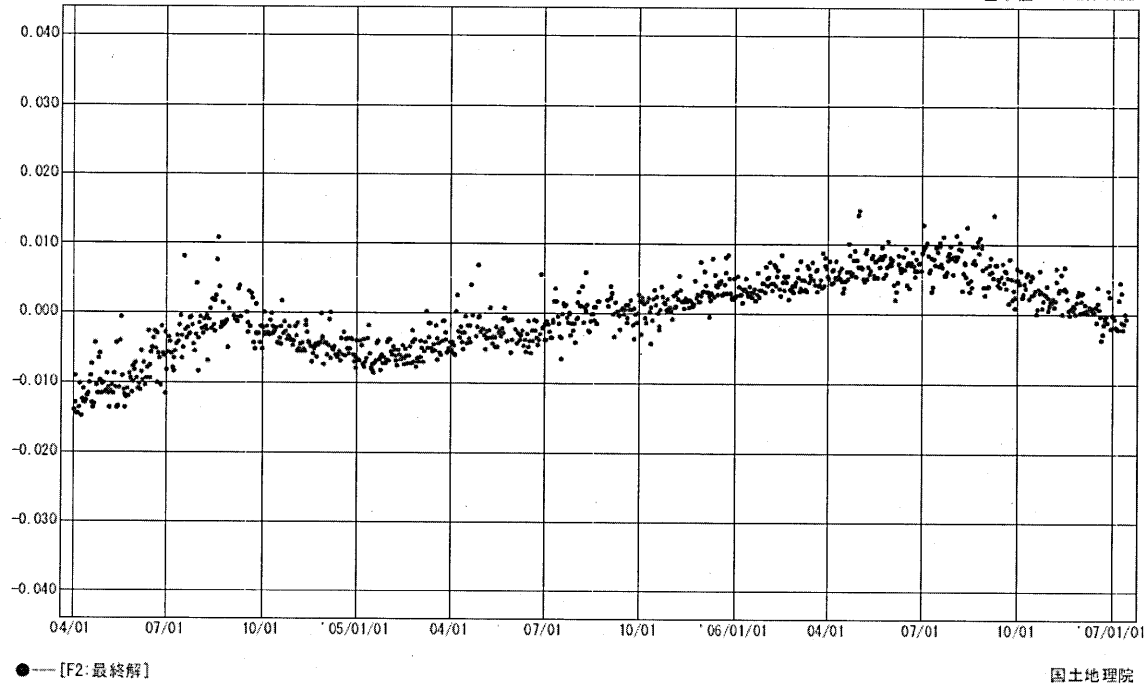


基線変化グラフ (最近の変動)

期間：2004/04/01~2007/01/13 JST

(m) (1) 大島1 (93051)→大島2 (93055) 斜距離

基準値：11825.403m



※電子基準点の保守等による変動は補正済み

第1図 (b) 伊豆大島のGPS連続観測結果 (1996年4月-2007年1月)

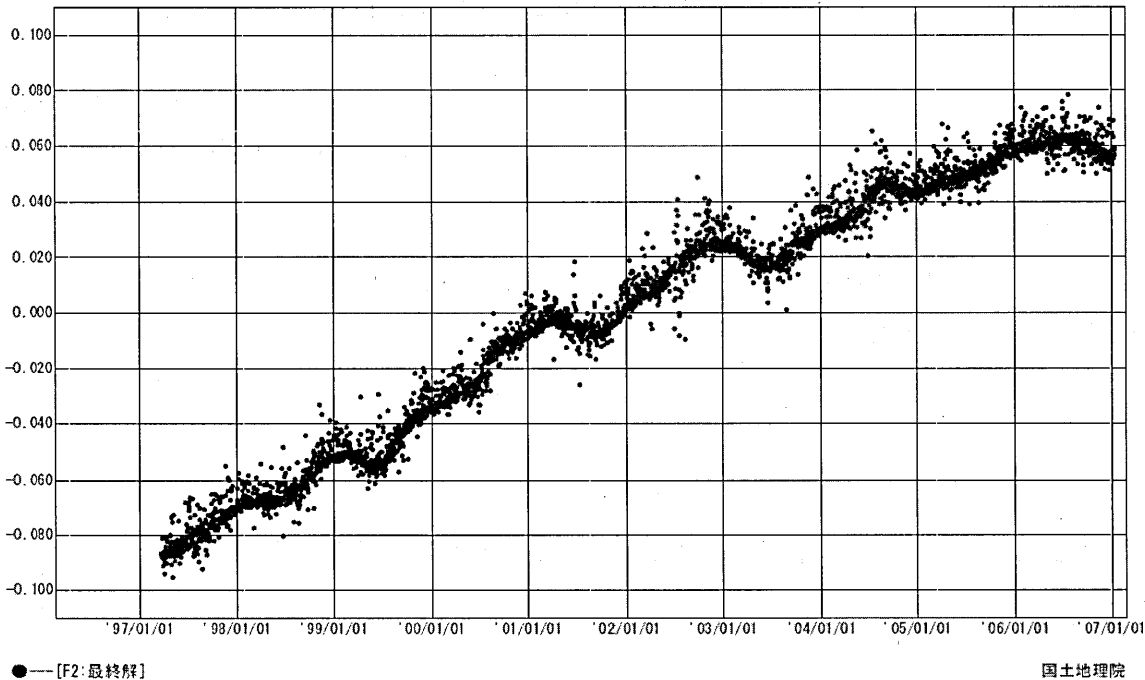
Fig.1 (b) Results of continuous measurements of the GPS in Izu Oshima Volcano during April 1996-January 2007. The lower figure is magnified plots during April 2004-January 2007.

基線変化グラフ (全期間の変動)

期間: 1996/04/01~2007/01/13 JST

(m) (2) 大島3 (960594) →大島4 (960595) 斜距離

基準値: 7399.744m

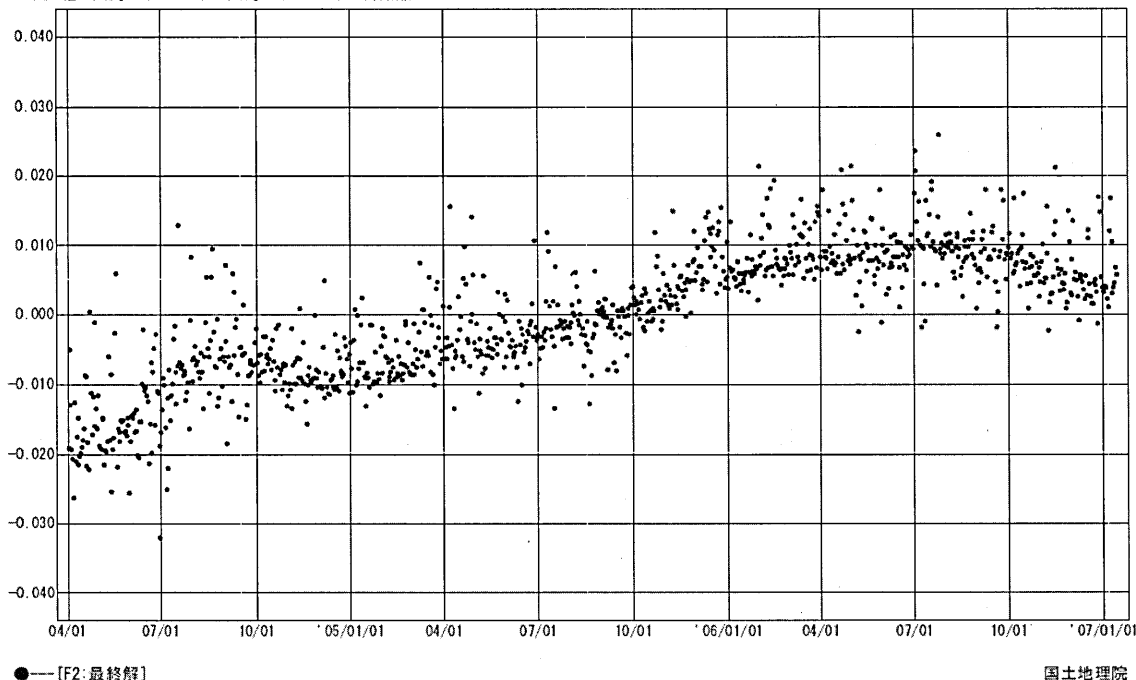


基線変化グラフ (最近の変動)

期間: 2004/04/01~2007/01/13 JST

(m) (2) 大島3 (960594) →大島4 (960595) 斜距離

基準値: 7399.796m



※電子基準点の保守等による変動は補正済み

第1図(c) 伊豆大島のGPS連続観測結果(1996年4月-2007年1月)

Fig.1 (b) Results of continuous measurements of the GPS in Izu Oshima Volcano during April 1996-January 2007. The lower figure is magnified plots during April 2004-January 2007.